

## 教育・文化・スポーツ

### お米が主食であることの自覚と感謝



山口 弘宣 議員

新嘗祭は、毎年秋に行われる宮中祭祀の1つとして行われ、天皇陛下がその年に収穫された初穂をお供えし、収穫を喜び、五穀豊穡に感謝した後、新米である初穂を召し上がられる。学校給食でも、この祭典に合わせ、新嘗祭以降に新米を提供し、お米が日本人の主食であることの自覚と子供たちが収穫を祝い感謝する気持ちを育む取り組みをすることはできないか尋ねる。

**答** 本市の学校給食では、大村市内で収穫された米を100%使用している。毎年11月後半には新米に切り替わるが、その際には、児童生徒に周知するなど、引き続き生産者や自然に対し、感謝の気持ちを持つことの大切さを伝え、豊かな心を育む食育をさらに推進したい。



## 教育・文化・スポーツ

### 学校及び児童生徒と地域行事の関わり



田中 秀和 議員

全国学力・学習状況調査によると、大村市の児童生徒の地域行事やボランティア参加率は、全国及び県平均よりも低い結果となっている。学力が全国平均を下回っている現状も確かに心配であるが、このことはそれ以上に問題である。教育委員会の見解と対応を尋ねる。

**答** 全国学力・学習状況調査において、地域行事に参加している児童生徒の割合が、全国や県の平均に比べて低かったことについては、大変残念に思っている。この課題の改善のためには、家庭、地域の連携・協力が不可欠であると考えている。学校では、引き続き地域素材や人材の活用など、地域の良さに触れる学習機会を設け、年間を通して計画的に実施するよう指導したい。



## 教育・文化・スポーツ

### 三学期制への移行について



城 幸太郎 議員

学期制検討委員会の答申により2020年度から小中全校を三学期制に戻すと決定した。学習指導要領の改訂により教員の仕事量増は明白である。教員の環境改善は、ひいては子供の教育環境改善につながり、「豊かな学力」「確かな育ち」が芽生えたと考える。4月中に設置する準備委員会で教員の働き方改革についてもしっかり検討することを約束してほしい。

**答** 現在、教職員はさまざまな問題に時間を費やしており、授業にかける時間が少なくなっている。これを機にオンとオフのはっきりした教職員の働き方改革を行い、子供たちにも元気を与え、一芸に秀でた子供たちをたくさん認め、たくさんいいところをほめて、短期間のうちにそのような大村の子供たちを育てていきたい。

## 教育・文化・スポーツ

### 手放しでは喜ばない中学校へのエアコン整備



神近 寛 議員

市は、平成31年度に中学校の普通教室へのエアコンの整備を目指しているが、以下の視点が欠けているため、計画的に進めることを求める。①PDCAサイクルの履行。②詳細な室温調査の実施。③国等の有利な財源の活用。④小学校への整備計画の策定。⑤指定避難所として求められる防災機能の検討。⑥公共施設等総合管理計画との整合性。

**答** 近年の気温上昇にかんがみ、学習環境の改善を目的に、進路決定の重要な時期を過ごす中学校から整備することとした。小学校への整備は、平成32年度からの3学期制への移行や、アセットマネジメント計画における小学校校舎の建替えスケジュールを踏まえ検討したい。事業費については、国への交付金の申請は行わず地方債を活用したい。避難所機能については平成30年度から関係部局で協議に入ることとしている。